



2021年11月15日

各 位

会 社 名 株式会社キャンディール
代 表 者 名 代表取締役社長 林 晃 生
(コード番号：1446 東証第一部)
問 合 せ 先 管理管掌取締役 藤 原 泉
(TEL. 03-6862-1701)

(訂正・数値データ訂正) 2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)
における一部訂正のお知らせ

2021年11月12日に公表いたしました「2021年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」について誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたため、数値データも送信いたします。

記

訂正内容は以下のとおりです(訂正箇所は下線)。

①配当支払開始予定日(サマリー1枚目)

<訂正前>

配当支払開始予定日 2021年12月25日

<訂正後>

配当支払開始予定日 2021年12月27日

②〇添付資料の目次(1ページ)

<訂正前>

(5) 継続企業的前提に関する重要事象等

<訂正後>

削除

なお、目次のページ番号、各ページのヘッダー表記及びページ番号を追記いたしました。
別紙として決算短信全文を添付しております。

以上



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

東

上場会社名 株式会社キャンディル

上場取引所

コード番号 1446

URL https://www.candeal.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 晃生

問合せ先責任者 (役職名) 管理管掌取締役

(氏名) 藤原 泉

(TEL) 03-6862-1701 (代)

定時株主総会開催予定日 2021年12月24日

配当支払開始予定日

2021年12月27日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績 (2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	11,220	△8.5	63	△85.0	36	△91.5	△72	—
2020年9月期	12,264	△6.9	421	△9.3	429	△5.2	191	△22.7

(注) 包括利益 2021年9月期 △72百万円(—%) 2020年9月期 191百万円(△22.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	△6.79	—	△2.2	0.5	0.6
2020年9月期	18.50	18.05	5.9	5.6	3.4

(注) 2021年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	7,366	3,260	44.3	304.07
2020年9月期	8,402	3,396	40.4	316.81

(参考) 自己資本 2021年9月期 3,260百万円 2020年9月期 3,396百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	△35	△93	△725	2,600
2020年9月期	449	△106	1,521	3,455

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00	63	32.4	1.9
2021年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00	64	—	1.9
2022年9月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00		88.5	

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	11,727	4.5	261	313.7	241	559.0	72	—	円 銭 6.78

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	10,724,200株	2020年9月期	10,720,200株
② 期末自己株式数	2021年9月期	－株	2020年9月期	－株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	10,723,098株	2020年9月期	10,364,737株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	1,131	△9.3	147	△44.3	130	△41.7	73	△44.4
2020年9月期	1,247	3.5	264	10.7	223	△1.3	132	18.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年9月期	6.86		6.83					
2020年9月期	12.77		12.46					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年9月期	5,989		3,074		51.3	286.67		
2020年9月期	6,694		3,063		45.8	285.75		

(参考) 自己資本 2021年9月期 3,074百万円 2020年9月期 3,063百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化し、依然として厳しい状況が続いております。収束時期が見通せない状況のなか、足元での経済の下振れリスクを抱え、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による新設住宅着工戸数は2020年10月～2021年9月累計で前年同期比101.5%と前年の大幅な減少から微増に転じましたが、当社が手掛けるリペアサービスは住宅等の引き渡し直前のタイミングで、また定期点検等の住環境向け建築サービスは引き渡し後にサービス提供することとなるため、同サービス分野は回復に至らず、減収を余儀なくされました。商環境向け建築サービスにつきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商業施設及びオフィスの内装工事等における需要が落ち込み、前期に引き続き減収となっております。

この結果、当連結会計年度における売上高は11,220,318千円（前年同期比91.5%）、営業利益は63,328千円（前年同期比15.0%）、経常利益は36,650千円（前年同期比8.5%）、親会社株主に帰属する当期純損失は72,823千円（前年同期は191,702千円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。なお、当社では過去の組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に192,223千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は228,874千円（前年同期比36.8%）、のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益は119,400千円（前年同期比31.1%）となります。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりです。

① リペアサービス

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心としたリペアサービスを提供しており、同社のリペアサービスの売上高は3,252,188千円（前年同期比90.9%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心としたリペアサービスを提供しており、同社のリペアサービスの売上高は893,836千円（前年同期比82.5%）となりました。その結果、当連結会計年度におけるリペアサービスの連結売上高は4,146,025千円（前年同期比88.9%）となりました。

② 住環境向け建築サービス

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心とした定期点検やリコール対応などを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は2,372,654千円（前年同期比101.6%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心とした検査サービスや内覧会運営サービスを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は618,577千円（前年同期比83.9%）となりました。その結果、当連結会計年度における住環境向け建築サービスの連結売上高は2,991,232千円（前年同期比97.4%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

株式会社キャンディルテクトは主に商業施設の内装施工サービス、組立サービス、揚重サービスなどを提供しており、当連結会計年度における商環境向け建築サービスの連結売上高は3,180,359千円（前年同期比84.3%）となりました。

④ 商材販売

株式会社キャンディルデザインは、補修材料を中心とした販売サービスの提供を行っており、当連結会計年度における商材販売の連結売上高は662,145千円（前年同期比87.3%）となりました。

⑤ 抗ウイルス抗菌サービス

当期新設した株式会社キャンディルパートナーズは主に抗ウイルス抗菌コーティング作業「レコナエアリフレッシュ」、抗ウイルス抗菌材「CAシリーズ」及び、ハイブリッド空気清浄機「K i r a l a Air」の提供を行っており、当連結会計年度における抗ウイルス抗菌サービスの売上高は240,555千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当連結会計年度末における資産合計は7,366,592千円となり、前連結会計年度末に比べ1,035,997千円の減少となりました。

流動資産は4,434,116千円となり、前連結会計年度末に比べ875,048千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が855,071千円減少したこと、受取手形及び売掛金が127,570千円減少したことなどによります。

固定資産は2,932,475千円となり、前連結会計年度末に比べ160,949千円の減少となりました。これは、主にのれんが192,223千円減少したこと、ソフトウェアが42,785千円増加したことなどによります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は4,105,696千円となり、前連結会計年度末に比べ900,641千円の減少となりました。

流動負債は2,238,075千円となり、前連結会計年度末に比べ156,408千円の減少となりました。これは、主に買掛金が66,455千円増加したこと、短期借入金が100,000千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が12,500千円減少したこと、未払法人税等が90,508千円減少したこと、未払消費税等が145,248千円減少したこと、賞与引当金が49,332千円減少したこと、未払費用が13,661千円減少したことなどによります。

固定負債は1,867,621千円となり、前連結会計年度末に比べ744,232千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が749,996千円減少したことなどによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,260,895千円となり、前連結会計年度末に比べ135,356千円の減少となりました。これは、主に利益剰余金が137,156千円減少したこと、資本金が900千円増加したこと、資本剰余金が900千円増加したことなどによります。

(自己資本比率)

当連結会計年度末における自己資本比率は44.3%（前連結会計年度末比3.9ポイント上昇）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は2,600,363千円と、前連結会計年度末に比べ855,071千円の減少となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、35,518千円となりました。これは主に、税金等調整当期純利益36,650千円を計上したこと、売上債権が127,570千円減少したこと、のれん償却額192,223千円、未払消費税等が145,248千円減少したこと、減価償却費56,373千円、法人税等の支払額242,630千円、仕入債務が66,455千円増加したこと、などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、93,732千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出85,632千円、有形固定資産の取得による支出8,732千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、725,820千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,800千円、長期借入金の返済による支出762,496千円、短期借入金の純増額100,000千円、配当金の支払による支出64,333千円などによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が今後徐々に収束していくと見込んでおり、既存事業の売上高は概ね2021年9月期を上回ると見込んでおります。

次期(2022年9月期)の業績予想見通しにつきましては、売上高は11,727百万円(2021年9月期比104.5%)、営業利益は261百万円(2021年9月期比413.7%)、経常利益は241百万円(2021年9月期比659.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は72百万円(2021年9月期比-%)と予想しております。

また、中間業績の見通しにつきましては、受注した施工案件の完成・引渡し時期により、当社グループの業績も大きく変動する可能性があること等から開示しておりません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,455,435	2,600,363
受取手形及び売掛金	1,583,391	1,455,820
商品及び製品	77,382	95,526
原材料及び貯蔵品	43,225	40,872
その他	153,271	246,315
貸倒引当金	△3,539	△4,781
流動資産合計	5,309,165	4,434,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,737	68,834
機械装置及び運搬具	14,366	14,366
工具、器具及び備品	73,681	78,219
リース資産	7,467	7,467
減価償却累計額	△93,764	△106,431
有形固定資産合計	70,487	62,455
無形固定資産		
のれん	2,691,132	2,498,908
ソフトウェア	103,842	146,627
その他	2,120	2,070
無形固定資産合計	2,797,095	2,647,606
投資その他の資産		
投資有価証券	42,007	42,007
敷金及び保証金	73,727	68,584
繰延税金資産	104,629	98,533
その他	10,353	18,928
貸倒引当金	△4,876	△5,640
投資その他の資産合計	225,841	222,413
固定資産合計	3,093,424	2,932,475
資産合計	8,402,589	7,366,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	273,177	339,633
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	762,496	749,996
リース債務	791	736
未払法人税等	112,954	22,446
未払消費税等	192,294	47,045
賞与引当金	180,057	130,725
未払費用	546,393	532,731
その他	226,319	214,761
流動負債合計	2,394,483	2,238,075
固定負債		
長期借入金	2,609,172	1,859,176
リース債務	2,681	1,945
その他	—	6,500
固定負債合計	2,611,853	1,867,621
負債合計	5,006,337	4,105,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,637	559,537
資本剰余金	2,278,737	2,279,637
利益剰余金	558,878	421,721
株主資本合計	3,396,252	3,260,895
純資産合計	3,396,252	3,260,895
負債純資産合計	8,402,589	7,366,592

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	12,264,654	11,220,318
売上原価	7,820,539	7,146,512
売上総利益	4,444,115	4,073,805
販売費及び一般管理費		
役員報酬	147,369	146,470
給料手当及び賞与	1,747,547	1,799,627
賞与引当金繰入額	180,057	130,725
地代家賃	331,004	313,277
のれん償却額	192,223	192,223
その他	1,423,933	1,428,153
販売費及び一般管理費合計	4,022,134	4,010,476
営業利益	421,981	63,328
営業外収益		
受取利息	79	80
受取配当金	94	—
助成金収入	53,395	4,337
受取保険金	9,251	5,501
その他	1,803	1,157
営業外収益合計	64,624	11,077
営業外費用		
支払利息	18,758	20,810
市場変更費用	27,655	—
障害者雇用納付金	1,740	5,460
その他	8,676	11,484
営業外費用合計	56,829	37,755
経常利益	429,775	36,650
税金等調整前当期純利益	429,775	36,650
法人税、住民税及び事業税	241,315	123,943
法人税等還付税額	—	△20,565
法人税等調整額	△3,243	6,095
法人税等合計	238,072	109,474
当期純利益又は当期純損失(△)	191,702	△72,823
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	191,702	△72,823

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	191,702	△72,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△576	—
その他の包括利益合計	△576	—
包括利益	191,126	△72,823
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	191,126	△72,823
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	497,042	2,217,142	429,220	3,143,405
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	61,594	61,594		123,189
剰余金の配当			△62,044	△62,044
親会社株主に帰属する当期純利益			191,702	191,702
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	61,594	61,594	129,657	252,847
当期末残高	558,637	2,278,737	558,878	3,396,252

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	576	576	10,087	3,154,069
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				123,189
剰余金の配当				△62,044
親会社株主に帰属する当期純利益				191,702
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△576	△576	△10,087	△10,664
当期変動額合計	△576	△576	△10,087	242,183
当期末残高	—	—	—	3,396,252

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	558,637	2,278,737	558,878	3,396,252
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)	900	900		1,800
剰余金の配当			△64,333	△64,333
親会社株主に帰属する当期純利益			△72,823	△72,823
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	900	900	△137,156	△135,356
当期末残高	559,537	2,279,637	421,721	3,260,895

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	—	3,396,252
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				1,800
剰余金の配当				△64,333
親会社株主に帰属する当期純利益				△72,823
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	△135,356
当期末残高	—	—	—	3,260,895

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	429,775	36,650
減価償却費	42,754	56,373
のれん償却額	192,223	192,223
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	816	2,006
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,473	△49,332
受取利息及び受取配当金	△173	△80
支払利息	18,758	20,810
売上債権の増減額 (△は増加)	209,641	127,570
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,444	△65,820
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,384	66,455
未払消費税等の増減額 (△は減少)	49,414	△145,248
その他	△106,717	△16,492
小計	808,136	225,115
利息及び配当金の受取額	173	80
利息の支払額	△19,569	△21,027
法人税等の還付額	0	2,943
法人税等の支払額	△339,067	△242,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,672	△35,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,301	△8,732
有形固定資産の売却による収入	10	—
無形固定資産の取得による支出	△40,231	△85,632
投資有価証券の取得による支出	△42,027	—
その他	432	631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,117	△93,732
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	100,000
長期借入れによる収入	3,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,228,332	△762,496
リース債務の返済による支出	△1,066	△791
新株予約権の行使による株式の発行による収入	113,102	1,800
配当金の支払額	△62,044	△64,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,521,659	△725,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,865,214	△855,071
現金及び現金同等物の期首残高	1,590,221	3,455,435
現金及び現金同等物の期末残高	3,455,435	2,600,363

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、前連結会計年度において当第2四半期以降は徐々に収束に向かうと想定しておりましたが、その後の新型コロナウイルスの感染拡大により一部の事業においては影響が継続しているため、感染拡大以前の水準まで業績が回復するには2022年9月にかけて徐々に収束し回復に向かう想定として、現時点で入手可能なデータに基づき、のれんの減損の認識や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて検討しております。なお、今後の状況の変化により想定した収益が見込めなくなった場合には、翌連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	316.81円	304.07円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	18.50円	△6.79円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	18.05円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 「1株当たり当期純利益1株当たり当期純損失」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	191,702	△72,823
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	191,702	△72,823
普通株式の期中平均株式数(株)	10,364,737	10,723,098
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	258,153	－
(うち新株予約権(株))	(258,153)	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,396,252	3,260,895
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,396,252	3,260,895
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,720,200	10,724,200

(重要な後発事象)

該当事項はありません。